

G3 のツイッター その 48

烈剛河内 竹井 保満

このツイッターが紙面を汚している頃には桜前線が北上していると思います。
「敷島の大和心を人とはば朝日ににほう山桜かな」
本居宣長が詠んだうたですが、山桜は本当に美しいと思います。今は桜といえば染井吉野をさしますが、染井吉野は花が咲いて後から芽が出てきます。然し山桜は芽が出てから花が咲き、その風情が好きです。鼯鼠の引き倒しで言わして頂ければ、日本の文化を世界に知らしめた浮世絵も、山桜の古木から切り出した板でないと細かい彫も多彩な色の乗りも微妙な摺も出来ませんでした。正に日本に相応しい花です。

花が咲いたり、目が伸びたり世界が生まれ変わるような春は本当に素晴らしい。中国の春節では少し早すぎますが、年度替わりが一年の始めとするのがいいと思っています。「木の芽時」とか「植物人間になった」とか言いますが、植物にとって何を根も葉もない事を言ってくれるかと怒るでしょう。アスファルトの割れ目から大根が生えたり、千切れて落ちた葉から根が出て成長する「葉から芽」と言う弁慶草の仲間、接ぎ木や挿し木で子孫を増やすなど、炭酸同化作用と相俟って、研究中の IPS 細胞などまだまだ足元にも及びません。

私も山桜の様に強く生きたいと思っておりますが、手足の関節が少しずつ痛くなるので、肩専門の医師の診察を受けました。色々検査した結果、軟骨がなくなり、骨と骨が擦れ合っているのが痛みの原因との診断でした。筋トレをやっているので、この状態でもよく動く方だと言われました。

次々と動かなくなって人様のお世話になり死を待つか、何とか動くようにしてもらって、体も心も、擦り切れて死を迎えるか、随分と考えましたが、擦り切れて死ぬ方を選びました。

アスリートとしてどうしても必要な右肩の手術をして頂くことにしました。肩甲骨の受け皿と上腕骨の関節は、骨と骨が接触しており、それに骨に突起が出ていてゴリゴリと擦るのだそうです。高齢者の手術は難しいが、あなたは元気だからと、四月半ばに手術をすと言って頂きました。

痛みが取れば、またアラハン(嵐寛ではありません)、アラウンド・ハンドレッドのアスリートを目指し、よい春が来るように手薬煉を引き待機中です。